

令和5年度 積志中学校 学校評価

I 令和5年度の取組 スローガン【SEKISHI PRIDE】 学校教育目標【大志を抱き、自ら学び高める生徒の育成】

◎授業の充実
主体的で・対話的で深い学びを通して、
学びの質を高める授業の創造

◎集団活動の充実
集団活動を通して、自己有用感の醸成と
子供の居場所づくり

◎体験活動の充実
質の高い体験活動を通して、学びが社会と
つながっていることが実感できる取組

II 自己評価

○生徒の評価

	R4	R5
1. 私は、321を意識するなど授業態度向上を目指している。	91.1%	93%
2. 私は、グループ活動で積極的に友達と意見交換している。	88.3%	87%
3. 私は、予習・復習など家庭学習をきちんと行っている。	77.4%	81%
4. 私は、自分からあいさつをしている。	93.4%	90%
5. 私は、SNSのメリット・デメリットを理解し、意識しながら使用している。	93.4%	95.4
6. 私は、いじめや命について真剣に考えている。	95.6%	94.8
7. 私は、悩みや心配事に対して相談できる人がいる。	95.6%	92%
8. 私は、毎日、朝ご飯を食べている。	96.0%	94.6
9. 給食だより、食育の日を通して「食育」について意識するようになった。	75.0%	78%
10. 私は、給食を好き嫌いなく、毎日、残さずに食べている。	91.0%	89%
11. 私は、体調管理を意識しながら生活している。（感染対策含む）	94.5%	89%
12. 私は、部活動に目標を持って一生懸命、取り組んでいる。	94.1%	93.1%
13. 私は、部活動に同級生、先輩、後輩と協力しながら取り組んでいる。	93.6%	92%
14. 私は、部活動と勉学を両立（文武両道）できるよう努力している。	83.2%	80.9%
15. 私は、学校行事（文化発表会・体育大会）に意欲的に参加した。	95.8%	95%
16. 私は、学年活動（福祉体験・職場体験・野外活動・修学旅行）に意欲的に参加した。	96.2%	97%
17. 私は、生徒会活動、委員会活動、係活動に積極的に参加している。	88.2%	88.8%
18. 私は、自転車に乗るときは、ルールを守り、交通事故に気を付けている。	98.3%	99%
19. 私は、地域の活動に参加した。（ボランティア・地域防災の日）	61.4%	65%
20. 私は、自分が住んでいる積志地区が好きだ。	92.8%	91%

○職員の評価

授業）落ち着いた学習態度が身に付いている。各教科、ICTを効果的に利用した学習活動を行った。

集団）行事では、実行委員を生かし、生徒が主体的に取り組める活動ができた。

体験）職場体験や講師を招いての講話等、全学年、貴重な体験をさせることができた。

いじめ対策）生活アンケート等の表れには、早期に対応をし、対策委員会での情報共有をし多くの職員で対応できた。

○保護者の評価

	R4	R5
1. 私は、学校経営方針や年間行事について理解している。	72.1%	93.3%
2. 私は、学校行事などは、子供の様子を見に行っている。	80.9%	82.8%
3. 子供は、家庭で学校での様子や友達についての話をしている。	80.8%	79.5%
4. 子供は、夜更かしなどせず、規則正しい生活を送っている。	64.4%	76.5%
5. 子供は、予習・復習・課題など家庭学習にきちんと取り組んでいる。	63.1%	81.1%
6. 子供は、学校行事を楽しんでいると感じ、意欲的に取り組んでいる。	88.0%	83.4%
7. 子供は、目標を持って部活動に参加している。	76.8%	72.3%
8. 子供は、健康や安全に気を付けて生活している。	94.8%	90.8%
9. 学校は、子供が学習内容を理解できるよう支援している。	74.3%	74.9%
10. 学校は、子供の良さを認め、積極的に声かけをしている。	80.0%	81.8%
11. 学校は、子供に希望や目標を持たせるような授業や集会を行っている。	79.8%	80.5%
12. 学校は、命を大切に活動する活動を行っている。	82.2%	84.4%
13. 学校は、いじめのない学級・学校づくりに努めている。	80.6%	85.6%
14. 学校は、子供の健康に気を付けた取組をしている。	90.4%	88%
15. 子供には、家庭の中で役割があり、手伝いをさせている。	65.3%	63.9%
16. 子供と一緒に夕食を食べるようにしている。	92.4%	93.4%
17. 休みの日の過ごし方で子供の外出先や交遊関係などを把握している。	97.3%	95.9%
18. 子供とゲームやSNSの使い方についてルールを決めている。	78.1%	76.9%

III 学校運営協議会による学校関係者評価

- ・生徒の調査結果が良好なのはよいことである。
- ・保護者の結果も良好ではあるが、全家庭が回答をしていないことを考えると学校に好意的な保護者の回答の結果ともとれる。回答率を向上させる手立てが必要ではないか。
- ・よい評価ばかりだと何を改善したらよいかわからなくなる。フリーコメント欄を付け、耳の痛い回答をもらうことも必要である。
- ・今回は全校集計であるが、学年ごとの特色や経年変化がわかるようにしてもよい。
- ・地域活動への参加の評価が低い。地域交流の場、集まる場に出たほうがよい。
- ・生徒が地域の活動に積極的に参加し、地域住民と互いに顔を知ったり、コミュニケーションをとったりする機会が生まれれば、それがいじめ防止、早期発見につながるのではないか。

IV 今後の改善方策

授業の充実：タブレットの活用を習慣化し、学校内での諸活動では、ICTの活用に積極的に取り組んでいきたい。ルール作り、マナーの徹底を含め情報教育を推進する。

集団活動の充実：生徒会役員、学級委員、実行委員等、リーダー研修や行事活動を通して育成し、生徒が主体的に取り組める教育活動を推進する。

体験活動の充実：地域や進路を考える授業では、幅広い職種の講師や地域人材を活用し、質の高い体験活動を推進する。地域との連携を増やしていきたい。

いじめ対策：人間関係に起因する不登校やまなびの教室を利用する生徒が増えている。教育相談や生活アンケート等で早期発見と対応をし、教室復帰ができるように支援する。

部活動：地域クラブへの移行期間であるが、部活動に対する生徒や保護者の意識は高い。スムーズに移行していけるようにCSと連携して進めていきたい。